

ORPHIS EX シリーズ

9050 / 9000 / 7250 / 7250A / 7200 / 7200L

管理者ガイド

管理者を対象とした本機やオプション（ICカードリーダー、スキャナー等）の設定について説明しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2 : 2011」に適合しています。

注意

お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

「安全上の注意」はユーザーズガイドに記載しております。ご使用の前に必ずお読みください。

本書について

はじめに

このたびは、ORPHIS EX シリーズをご採用いただき、まことにありがとうございます。

本書では、管理者設定について説明します。

ユーザーやアドレス帳の登録、操作の許可・制限、使用環境の設定など、使用目的や使用状況に応じてさまざまな設定ができます。

使いやすい環境を設定して、より便利に本機をご活用ください。

- 管理者設定には、本機の動作に重大な影響をおよぼすものがあります。必ず専任の管理者を定め、管理者の責任で管理・運用してください。また、パスワードは慎重に管理してください。
- 設定できる項目は、接続されているオプションや設定内容により異なります。

本機の取扱説明書は、次の 4 冊から構成されています。

● らくらく使いかたガイド

プリンタ、コピー、スキャナーの基本的な使いかたや、消耗品の交換について説明しています。
まずはこのガイドからお読みください。

● ユーザーズガイド

取り扱い上の注意、仕様、各種機能の操作や設定について説明しています。
本機について詳しく知りたいときに、このガイドをお読みください。

● 管理者ガイド（本書）

管理者を対象とした本機やオプション（IC カードリーダー、スキャナー等）の設定について説明しています。

● こんなときには

故障かな？と思ったときや紙づまりなどのトラブルの対処方法について説明しています。

取扱説明書の記述内容について

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
- (3) 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ColorSet は米国の特許商標局で登録される Monotype Imaging 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

RISO ロゴ、ORPHIS、FORCEJET は、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。



カラーユニバーサルデザイン認証を取得

ORPHIS EXシリーズ（本体、オプション*および取扱説明書）は、NPO法人カラー
ユニバーサルデザイン機構（CUDO）により、カラーユニバーサルデザインが実
現できていると認定されました。

* 認定オプション製品

スキャナー／オフセットステープルトレイ／大容量給紙ユニット／大容量排紙ユニット

表記について

■ 本文中で使用されるマークについて



安全にご利用いただくための注意事項が書かれています。



操作上守っていただきたいことなどの重要事項が書かれています。

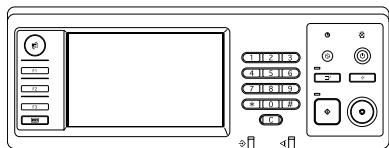


覚えておくと便利なことや補足説明が書かれています。

■ 記載方法について

このガイドの中で操作パネルなどのハードキーは「[]」キー、タッチパネル画面のボタンや、パソコン操作画面のボタン／項目名については、ボタン名称を「[]」で括って表しています。

● 操作パネル



例：[ストップ] キーを押します。

● タッチパネル画面



例：[AF 原稿追加] を押します。

● パソコン操作画面



例：[原稿サイズ混在] にチェックを入れます。

■ オプション名の表記

本書では、オプションを以下のように表記しています。それぞれに固有の事項を説明する場合には、個別の名称を表記しています。

表記	オプション名称
マルチフィニッシャー	マルチフィニッシャー M (中とじ機能つき) マルチフィニッシャー S
給紙台	大容量給紙ユニット
排紙台*	排紙台 W オートフェンス排紙台 大容量排紙ユニット

* 本体右側に接続するオプションの排紙台です。

■ 本文中の画面について

本書に掲載している画面やイラストは、本体の機種、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。



ORPHIS EX7200L では、使用するインクがブラックとレッドになるため、以下の画面表示が異なる場合があります。

- プリントドライバ画面およびコピー mode 画面のカラーモード
- 各モード画面のインク残量表示
- 一般情報画面

RISO コンソール画面も、インクに関する表示が異なります。

目次

本書について	1
表記について	2
プリンタドライバのインストールとアンインストール	5
CD-ROM の内容について	5
インストーラの種類	5
セットアップ作成ツールでクイックインストーラを作成する	5
インストール方法	5
標準インストーラでインストールする場合	5
クイックインストーラでインストールする場合	6
アンインストール方法	6
Windows 10 の場合	6
Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合	6
その他の場合	6
管理者を設定する	7
管理者設定の流れ	7
管理者ができること	7
管理者設定	7
管理者だけが使える機能	8
管理者パスワードの設定	9
管理者設定の方法	10
操作パネルから設定する場合	10
RISO コンソールから 設定する場合	11
管理者設定項目	12
管理者設定一覧表	12
管理者設定項目 / 内容	13
ユーザー管理	13
システム	15
プリンター	18
スキャナー	22
IC カードリーダー（オプション）接続時の設定	24
ユーザー登録をする	24
ログイン設定	25
グループ設定	25
見出し設定	26
ユーザー設定	26
大勢のユーザーを登録する（ユーザー設定）	28

認証サーバー設定（外部サーバー認証）を設定する	30
外部サーバー認証によって制限される機能	30
外部システム連携を設定する	33
外部システム連携によって影響を受ける機能	33
外部システム連携	34
非理想科学製インク使用設定（操作パネルのみ）	35
ネットワーク設定（IPv4）	36
ネットワーク設定（IPv6）	36
ネットワーク詳細設定	36
IP アドレス制限設定 IPv4 / IPv6	38
IPsec 設定	38
大容量給紙ユニット設定	40
スキャナー保存先登録	41
管理者の設定により影響を受ける機能	42
機能相関図	42
付録	46
インポートする CSV ファイル形式	46
[共通]	46
[プリント／コピー機能制限設定] : [モードごとに制限する] 選択時の例	47

プリンタドライバのインストールとアンインストール

CD-ROM の内容について

付属の CD-ROM には、インストーラとセットアップ作成ツールを [Windows 32-bit] と [Windows 64-bit] に分けて収録しています。お使いの OS の bit 数に適した方を使用してください。

- ・ プリンタドライバ標準インストーラ
標準のインストーラです。
- ・ セットアップ作成ツール
クリックインストーラ作成用のツールです。このツールを使って、設定内容をカスタマイズしたインストーラを作成できます。

インストーラの種類

インストーラは2種類あります。

- ・ 標準インストーラ
CD-ROM に収録されているインストーラです。このインストーラを使った場合は、各ユーザーがプリンタドライバのオプションの設定などを行う必要があります。
- ・ クリックインストーラ
セットアップ作成ツールで作成したインストーラです。
(作成方法については、「セットアップ作成ツールでクリックインストーラを作成する」を参照してください。)
クリックインストーラを使用すると、設定内容がカスタマイズされたプリンタドライバをインストールすることができます。ユーザーは、インストール後、特別な設定を行わずに、すぐにプリンタドライバを使ってパソコンから印刷することができます。
大勢のユーザーがプリンタドライバをインストールする場合に利用すると便利です。
また、「両面印刷」や「白黒印刷」を初期値に設定しておく、カラープリントの使用を制限するなど、プリンタの管理・運用面でも利用できます。
カスタマイズできる設定内容は、以下の通りです。
 - ・ カラーモードの制限
 - ・ 印刷設定の初期値
 - ・ [プリンタと FAX] 一プロパティの設定内容

セットアップ作成ツールで クリックインストーラを作成する

- ① 標準インストーラを使用して、ドライバをインストールする
- ② 各設定をする
印刷設定の初期値や [プリンタと FAX] 一プロパティの設定内容を設定してください。
- ③ セットアップ作成ツールを起動する
CD-ROM の [Windows 64-bit] (または [Windows 32-bit]) - [SetupMaker] フォルダ内の「SetupMaker.exe」をダブルクリックします。



お使いの OS の bit 数に適したフォルダを選択してください。bit 数が異なる場合、セットアップ作成ツールは起動しません。

- ④ 画面の指示に従って、設定する
クリックインストーラが作成されます。

インストール方法

■ 標準インストーラでインストールする場合

CD-ROM をパソコンにセットすると、インストールウィザードが起動します。
画面の指示に従って、インストールしてください。
インストールが終了したら、パソコンを再起動してください。
詳しいインストール方法については、「らくらく使いかたガイド」の「プリンタドライバのインストール」を参照してください。

■ クイックインストーラでインストールする場合

クイックインストーラの「QuickSetup.exe」ファイルをダブルクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

アンインストール方法

■ Windows 10 の場合

[スタート] から、[すべてのアプリ] → [RISO ORPHIS EX] → [アンインストーラ] を選択します。

画面の指示に従って、アンインストールしてください。

アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合

「アプリ」画面を開き、「RISO ORPHIS EX」グループの [アンインストーラ] をクリックします。
画面の指示に従って、アンインストールしてください。

アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ その他の場合

[スタート] から、[(すべての) プログラム] → [RISO] → [ORPHIS EX] → [アンインストーラ] を選択します。

画面の指示に従って、アンインストールしてください。

アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

管理者を設定する

管理者設定の流れ

一般ユーザーに本機を公開する前に、管理者が設定すべき項目は次のとおりです。

1 管理者パスワードを設定する

2 管理者としてログインする

3 ネットワークの設定をする
（本機をネットワーク接続して
使用する場合）

4 ユーザー登録をする
(p. 24 参照)

5 その他、必要な管理者設定を
する



- ネットワークプリンタとしてお使いの場合は、最初に「ネットワーク設定」で IP アドレスを設定してください。
- コピーモードおよびスキャナーモードの初期値の設定は、管理者ログイン後、各モード画面から行います。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「初期値に登録」を参照してください。

管理者ができること

管理者には、大きく分けて、以下の 2 つの権限があります。

- ・「管理者設定」で初期値を変更したり、各種使用環境を設定したりすることができる
- ・通常モード（各モード）使用時に、「管理者だけが使える機能」がある

■ 管理者設定

「管理者設定項目」(p. 12) で説明している設定が可能です。
設定方法については、「管理者設定の方法」(p. 10) を参照してください。

■ 管理者だけが使える機能

通常モード使用時に、管理者のみが操作や確認できる機能があります。
これらの機能を使用するには、以下の方法でログインしてください。

- ① 管理者権限を持つユーザーでログインする
- ② モード選択画面の【管理者ログイン】を押す
- ③ モード選択ボタンを押す

それぞれのモードで、管理者だけが使える機能は以下の通りです。

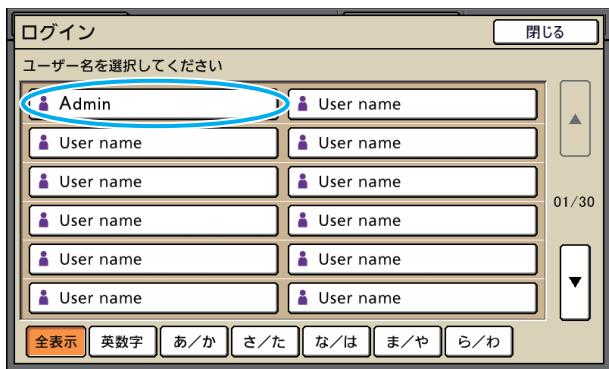
該当機能	管理者だけができる操作
モード選択画面	
状態確認	【システム情報】画面 [コメント] の入力
プリンターモード	
ジョブリスト	【処理中】画面／【指示待ち】画面／【終了】画面のジョブ 全ユーザーのジョブの確認、削除、プリント指示
	【ボックス】画面のジョブ 全ユーザーの個人ボックスのジョブの確認、削除、プリント指示
	暗証番号つきジョブ 暗証番号入力なしでの削除
コピー mode	
POP 機能登録	ログインが不要な環境での登録変更
お気に入り機能登録	「ユーザーズガイド」の「POP／お気に入り機能登録」を参照してください。
コピー mode／スキャナーモード共通	
初期設定値に登録 設定確認	ログインが不要な環境の場合 コピー mode およびスキャナーモードの初期値を変更することができます。 ([初期値に登録] [初期値をクリア] の操作) ログインが必要な環境の場合 ユーザーが初期値を変更しない場合、または [初期値をクリア] した場合の、コピー mode およびスキャナーモードの初期値を変更することができます。 設定方法については、「ユーザーズガイド」の「設定確認」を参照してください。
設定登録／呼出	ログインが必要な環境での、全ユーザーが共有で使用できる設定の登録 詳しくは、「ユーザーズガイド」の「コピー／スキャナー設定登録」を参照してください。 共有設定されている設定登録（ボタンに共有マーク  がついているもの）の削除と名称変更 詳しくは、「ユーザーズガイド」の「コピー／スキャナー設定登録」を参照してください。

管理者パスワードの設定

初めて本機を使うときは、まず管理者パスワードを設定します。以下の手順で、設定してください。

- モード選択画面の【ログイン】を押して、【ログイン】画面を表示する

- [Admin]** を押す



旧パスワード入力画面が表示されます。

- 旧パスワードを入力する

工場出荷時の設定は「0000」です。

- 【確定】を押す



新パスワード入力画面が表示されます。

- 新しいパスワードを入力する

パスワードは、半角英数字 0 ~ 16 以内で入力してください。

- 【確定】を押す

ユーザー名を変更する場合は、管理者設定の【ユーザー設定】から変更してください。(p. 26 参照)

管理者設定の方法

管理者設定の方法には、以下の2つがあります。

- ・操作パネルから設定する方法
- ・RISOコンソールから設定する方法

本書では、操作パネルから設定する方法を中心に説明します。



管理者設定を行うには、管理者権限のあるユーザーでログインする必要があります。

操作パネルから設定する場合

① 管理者権限を持つユーザーでログインする

モード選択画面の【ログイン】からログインしてください。

② 【管理者ログイン】を押す

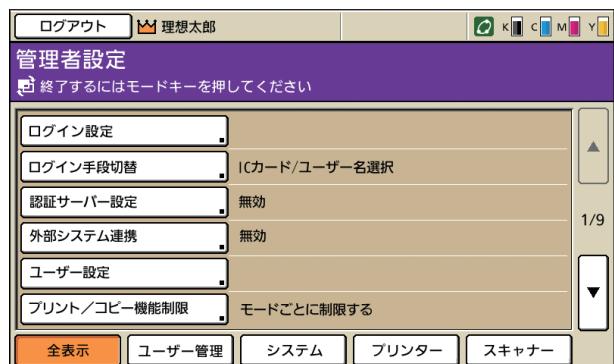


ステータスバーのユーザー名の前に冠マークが表示されます。

③ 【管理者設定】を押す



④ 各設定をする



設定後はモードキーを押し、管理者設定を終了してください。

画面の下にあるボタンを押すと、そのボタンの項目だけが表示されます。
p. 12以降の一覧表は、すべての管理者設定についてボタン名ごとにまとめています。

RISO コンソールから設定する場合

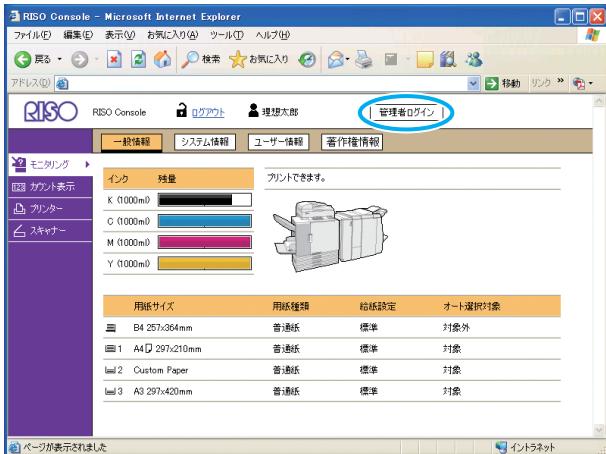
1 RISO コンソールを起動する

ウェブブラウザを起動し、アドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

2 管理者権限を持つユーザーでログインする

[ログイン] をクリックして、ユーザー名、パスワードを入力してください。

3 [管理者ログイン] をクリックする



4 [管理者設定] をクリックする



5 各設定をする



設定後は [ログアウト] をクリックするか、画面を閉じて終了してください。

管理者設定項目

- 管理者設定の設定項目は以下のとおりです。



設定に必要なオプションが接続されていない場合、その設定項目は表示されません。

管理者設定一覧表

管理者が設定する項目は、以下のとおりです。機能によって4つのカテゴリー（ユーザー管理、システム、プリンター、スキャナー）に分類されています。一覧表の参照ページで、各機能の内容や設定値を確認することができます。



カテゴリー別に分類されたボタンです。各カテゴリーの機能に絞り込んで表示することができます。

ユーザー管理

(ユーザーごとに使用できる機能を制限したりジョブの履歴を管理する)

- ・ログイン設定 (p. 13, 24, 25)
- ・ログイン手段切替 (p. 13, 24)
- ・認証サーバー設定 (p. 14, 30)
- ・外部システム連携 (p. 14)
- ・ユーザー設定 (p. 14, 24, 26)
- ・プリント／コピー機能制限設定 (p. 14)
- ・使用枚数オールクリア (p. 14)
- ・ボックス機能 (p. 14)
- ・共有ボックス設定 (p. 14)
- ・グループ設定 (p. 14, 24, 25)
- ・見出し設定 (p. 15, 24, 26)
- ・アカウンティング情報設定 (p. 15)
- ・アカウンティング情報履歴 (p. 15)
- ・アカウンティング情報
(RISO コンソールのみ) (p. 15)
- ・制限枚数集計リスト (p. 15)

システム

(本機のシステムを設定する)

- ・用紙サイズ登録 (p. 15)
- ・ファンクションキー登録 (p. 15)
- ・日時設定 (p. 16)
- ・NTP サーバー同期設定 (p. 16)
- ・タイマー運転 (p. 16, 34)
- ・省電力設定 (p. 16)
- ・オートリセット設定 (p. 16)
- ・クリーニングサイクル設定 (p. 16)
- ・表示言語 (p. 16)
- ・ブザー音 (p. 17)
- ・ミリ・インチ切替 (p. 17)
- ・初期画面表示 (p. 17)
- ・管理者設定プリント (p. 17)
- ・初期化 (p. 17)
- ・エラー履歴送信 (p. 17)
- ・非理想科学製インク使用設定 (p. 17, 35)
- ・サプライ在庫管理 (p. 17)

プリンター

(プリンター機能やネットワークの設定をする)

- ・ネットワーク設定 (IPv4)(p. 18、36)
- ・ネットワーク設定 (IPv6)(p. 18、36)
- ・ネットワーク設定 (詳細)(p. 18、36)
- ・外部 CI 情報設定(p. 18)
- ・IP アドレス制限設定 (IPv4)(p. 18、38)
- ・IP アドレス制限設定 (IPv6)(p. 18、38)
- ・IPsec 設定(p. 18、38)
- ・IPsec 設定 (外部 CI)(p. 19)
- ・プリント終了ジョブ設定(p. 19)
- ・プリント指示待ちジョブ設定(p. 20)
- ・プリント領域切替(p. 20)
- ・封筒給紙設定(p. 20)
- ・モード別排紙先設定(p. 21)
- ・オート排紙台フェンス設定(p. 21)
- ・ジョブ名表示切替(p. 21)
- ・USB メモリプリント設定(p. 21)
- ・カラー／白黒判定レベル(p. 21)
- ・追加コピー機能(p. 21)
- ・大容量給紙ユニット設定(p. 21、40)
- ・大容量排紙ユニット設定(p. 22)

スキャナー

(スキャナー機能の設定をする)

- ・スキャンデータ保存設定(p. 22)
- ・スキャナー確認切替(p. 22)
- ・スキャナー保存先登録(p. 22、41)
- ・メール宛先登録(p. 23)
- ・メール宛先直接入力切替(p. 23)
- ・メール送信設定(p. 23)

管理者設定項目 / 内容

- 下線は工場出荷時の設定です。
- は、IC カードリーダー（オプション）接続時に設定が必要な項目です。

ユーザー管理

設定項目／内容	設定値／詳細
ログイン設定 各モードに入る際に、ログインを必要とするかどうかを設定します。本機を使用するユーザーを制限したい場合に設定します。	p. 25 参照
ログイン手段切替 IC カードによる認証のほかに、PIN コードによるログイン認証を可能にするかどうかを設定します。PIN コードでログインできるようにするには、[IC カード / ユーザー名選択] を選んでください。	<u>ICカードのみ</u> 、ICカード/ユーザー名選択
RISO コンソールからのログインは、本機能の設定にかかわらず PIN コードでログインすることができます。	

設定項目／内容	設定値／詳細
認証サーバー設定 <p>外部サーバーを使用して、外部サーバーにアカウントを持つユーザーの認証を行う場合に設定します。外部サーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。</p>  外部サーバー認証を利用した場合、プリンター側にユーザー情報を登録する必要がなく、外部サーバーで集中管理できます。	p. 30 参照
外部システム連携 <p>外部サーバー（MPS ソフトウェア）を使用して、外部サーバーにアカウントを持つユーザーの認証や、プリント／コピージョブに対して課金を行う場合に設定します。外部サーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。</p>	<u>無効、有効</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ アドレス：半角英数字 256 文字以内 ・ ポート：1-65535 (工場出荷時：9191)
ユーザー設定  <p>本機を使用するユーザーの登録をします。 ユーザーごとに、使用できるモードを選択したり、カラーモードの使用や、コピー枚数を制限することができます。</p>  [ログイン設定] が [不要] の場合は、登録の必要はありません。	p. 26 参照
プリント／コピー機能制限設定 <p>[ユーザー設定] でプリントやコピーの使用枚数が制限されている場合に、プリンターモード、コピーモードごとに枚数を制限するか、両モードを一括した合計枚数を制限するかを設定します。</p>	<u>王一ドごとに制限する、一括で制限する</u>
使用枚数オールクリア <p>[ユーザー設定] でプリントやコピーの使用枚数が制限されている場合に、全ユーザーの使用枚数カウントをクリアします。</p>	表示メッセージに従って、操作してください。
ボックス機能 <p>ジョブをボックスに保存する機能の有効／無効を設定します。[無効] に設定すると、プリンターモードの [ボックス] 画面、コピーモードの [機能一覧] 画面にある [ボックス保存] は表示されません。</p>  [ボックス機能] を [無効] に設定している場合は、この機能はグレーアウトされます。	<u>無効、有効</u>
共有ボックス設定 <p>ジョブを保存する共有ボックスの設定をします。最大 30 個まで設定できます。[ログイン設定] を [必要] に設定している場合は、各ボックスごとに、使用できるユーザーを、グループ単位で制限する設定ができます。 [許可グループ選択] から、最大 3 個までグループを選択できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボックス名 ・ このボックスを使えるユーザー <u>全ユーザー</u>、許可グループ選択
グループ設定 <p>ユーザーの属性として使用するグループを設定します。最大 60 個のグループを設定できます。ここで設定したグループは、以下の設定で使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ユーザー設定] の [所属グループ] 選択 ・ [共有ボックス設定] の [許可グループ選択] ・ アカウンティング情報  [ログイン設定] が [不要] の場合は、登録の必要はありません。	p. 25 参照

設定項目／内容	設定値／詳細
見出し設定 [ログイン] 画面の「ユーザーのリスト」や「メールの宛先表」などで表示する見出しのボタン名を設定します。6 個のボタンに、任意の文字列を割り当てられます。	p. 26 参照
アカウンティング情報設定 アカウンティング情報を、一定期間で自動消去するかしないかを設定します。 設定した保存期間で、自動的に消去します。  アカウンティング情報とは、本機が実施したジョブの履歴です。プリントジョブ、コピージョブ、スキャンジョブの終了状況、オーナー名、処理時間、総頁数、部数、ジョブ開始（日時）が記録されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 履歴ファイルへの保存 アカウンティング情報を定期的に保存する設定をします。ここで、設定した期間で、履歴ファイルが本機に保存されます。 保存された履歴ファイルは、[アカウンティング情報履歴] または [アカウンティング情報] から取り出すことができます。 ・ FTP 経由でのアカウンティング情報取得 FTP 経由でアカウンティング情報を取得する場合に、設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自動消去しない</u>、自動消去する ・ 保存時間、保存日数 (いずれか 1 つ選択) 1 ~ 99 (工場出荷時：保存日数 7 日) ・ 履歴ファイルへの保存 <u>保存しない</u>、日ごと、月ごと ・ FTP 経由でのアカウンティング情報取得 <u>禁止</u>、許可 ・ FTP パスワード
アカウンティング情報履歴（操作パネルのみ） アカウンティング情報履歴ファイルの削除や、USB メモリへの保存ができます。 あらかじめ [アカウンティング情報設定] で、[履歴ファイルへの保存] を [日ごと] または [月ごと] に設定する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削除する場合 リストから削除するファイルを選択し、[削除] を押してください。 ・ USB メモリへ保存する場合 USB メモリを接続して、リストから保存するファイルを選択し、[USB メモリに保存] を押してください。
アカウンティング情報（RISO コンソールのみ） アカウンティング情報のカレントジョブリスト（保存期限前のアカウンティング情報）や履歴ファイルを、削除またはパソコンへダウンロードします。 あらかじめ [アカウンティング情報設定] で [履歴ファイルへの保存] を [日ごと] または [月ごと] に設定する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削除する場合 [カレント] 画面のリストから削除するファイルを選択し、[削除] をクリックしてください。 ・ パソコンへダウンロードする場合 [履歴ファイル] 画面のリストから、ファイルを選択し、[ダウンロード] をクリックしてください。
制限枚数集計リスト [ユーザー設定] でプリントやコピーの使用枚数が制限されている場合に、各ユーザーの制限枚数や使用枚数の集計リストを保存またはプリントできます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の操作パネルの場合 プリントする、USB メモリに保存する ・ RISO コンソールの場合 プリント、CSV ファイルの書き出し（保存場所を指定してください）

システム

設定項目／内容	設定値／詳細
用紙サイズ登録 不定形の用紙サイズを最大 99 個登録できます。登録した用紙は、[用紙トレイ] の選択肢として表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用紙サイズ 90mm × 148mm ~ 340mm × 550mm ・ 用紙名称
ファンクションキー登録 操作パネルのファンクションキーに、よく使うモードや機能を登録します。 右の欄から機能を 3 つ選んで、F1 / F2 / F3 にそれぞれ登録します。	ログイン／ログアウト、状態確認、プリンターモード、コピーモード、スキャナーモード、前扉ロック解除

設定項目／内容	設定値／詳細
日時設定 日付と時間を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年／月／日 ・ 時：分 ・ 年月日の表示順 <u>yyyy/mm/dd</u>、<u>mm/dd/yyyy</u>、<u>dd/mm/yyyy</u>
NTP サーバー同期設定 NTP サーバーから正確な時刻を取得し、本機に同期させることで、内蔵時計の時間誤差を防ぐことが可能です。	 <ul style="list-style-type: none"> ・ NTP サーバーは、[アドレス] を押すと表示される [アドレス] 画面で入力します。 ・ NTP サーバーと同期するときのタイムアウト時間は、[タイムアウト] で設定します。設定した時間内にサーバーからの応答がないと、NTP サーバーとの同期を中止します。 ・ [認証サーバー設定] や [タイマー運転] など、時刻の精度を求められる機能を設定した場合に効果的です。 ・ [NTP サーバー同期設定] が [有効] の場合、[日時設定] では [年月日の表示順] のみ設定できます。
タイマー運転 曜日ごとに指定した時刻で、本機の「副電源」を自動的に ON/OFF します。使用環境(曜日ごとの起動 / 終了時間)に合わせて設定することが可能です。消し忘れを防ぎ、省電力にもつながります。	<u>無効、有効</u> p. 34 参照
省電力設定 本機を一定時間使用しない場合に、省電力状態に切り替える設定をします。 省電力設定には [オートバックライト OFF] と [オートスリープ] があります。スリープには消費電力値の違いで 2 種類 [少ない／標準] から選択することができます。	 <ul style="list-style-type: none"> ・ スリープ時の消費電力 <u>少ない</u>／標準 ・ オートバックライト OFF 無効／有効、動作までの時間：1～60 分（工場出荷時 10 分） ・ オートスリープ 無効／有効、動作までの時間：1～60 分（工場出荷時 55 分）
オートリセット設定 一定時間本機を操作しなかった場合に、自動的に初期値に戻します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無効／有効 ・ 動作までの時間：1～60 分（工場出荷時 3 分）
クリーニングサイクル設定 設定したプリント枚数ごとに、自動的にインクヘッドをクリーニングします。	500～3000 枚 (工場出荷時 1000 枚)
表示言語 タッチパネルに表示される言語を選択します。設定後は、全ての表示が選択した言語に切り替わります。	設定できる言語については、本機の操作パネルを確認してください。

設定項目／内容	設定値／詳細
ブザー音 キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。 ・ OFF ブザー音は鳴りません。 ・ 限定 エラー音のみ鳴ります。 ・ ON 確認音、エラー音ともに鳴ります。	OFF、限定、 <u>ON</u>
ミリ・インチ切替 本機で扱う長さの単位や、用紙サイズ表示を設定します。	mm、inch
初期画面表示 電源投入時や、オートリセット後に表示する画面を設定します。	モード選択画面、 プリンターモード、コピーモード、 スキャナーモード
管理者設定プリント 管理者設定の設定値一覧をプリントします。  A4 サイズの用紙を、給紙台にセットしてください。	表示メッセージに従って、操作してください。
初期化（操作パネルのみ） 管理者設定の設定内容やユーザー情報などを消去して、初期値に戻します。 ・ ユーザー情報を全て削除する ユーザー設定で登録したユーザー情報や、個人ボックスを全て削除します。 ・ 出荷時の状態に戻す 管理者設定のうち、ユーザー情報以外の設定を工場出荷時の状態に戻します。  初期化実施後は、情報（データ）を復帰させることはできません。実施する前に よく確認してください。	ユーザー情報を全て削除する、 出荷時の状態に戻す
エラー履歴送信（操作パネルのみ） お客様にエラー履歴送信の同意を頂いている場合に、エラー履歴を当社の管理サーバーに マニュアル送信します。  ● この機能は、お客様に同意を頂いている場合のみ表示されます。 ● お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）から指示があった 場合に、使用してください。	表示メッセージに従って、操作してください。
非理想科学製インク使用設定（操作パネルのみ） 理想科学製ではないインクを使用する場合に、各色ごとに禁止／許可の設定をします。	p. 35 参照
サプライ在庫管理（操作パネルのみ） 購入したインクの本数を入力しておくことで、現在のインクの在庫数が確認できます。 在庫が【確認在庫数】で入力した本数になると、画面に確認メッセージが表示されます。  この機能は、表示されていない場合があります。ご使用になりたい場合は、お買 い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）に連絡してください。	・ 購入した本数 0 本～99 本 ・ 確認在庫数 0 本～99 本

プリンター

設定項目／内容	設定値／詳細
ネットワーク設定 IPv4 本機をネットワーク接続して使用する場合に設定します。 インターネットプロトコル Ver.4 のネットワーク環境に接続するための設定です。  RISO コンソールから設定する場合、[ネットワーク設定] 画面で、IPv4 および IPv6 のネットワーク設定とネットワーク設定(詳細)を登録することができます。	p. 36 参照
ネットワーク設定 (IPv6) 本機をネットワーク接続して使用する場合に設定します。インターネットプロトコル Ver.6 のネットワーク環境に接続するための設定です。	p. 36 参照
ネットワーク設定 (詳細) ネットワーク環境の詳細を設定します。ご使用のネットワーク環境により、設定項目が異なります。	p. 36 参照
外部 CI 情報 (ComuColorExpress IS1000C 接続時 操作パネルのみ) 本機と外部コントローラをネットワーク接続して使用する場合に設定します。 ご使用のネットワーク環境により、設定項目が異なります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定方法 IP アドレス (IPv4)、IP アドレス (IPv6) IPv4 の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ DHCP サーバー ・ 使用しない、使用する ・ IP アドレス ・ サブネットマスク ・ ゲートウェイアドレス IPv6 の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ アドレス設定方法 手動／ステートレスアドレス／ステートフルアドレス ・ IP アドレス ・ プレフィックス長 ・ ゲートウェイアドレス
IP アドレス制限設定 (IPv4) / (IPv6) 本機を利用できるパソコンを制限する場合に設定します。アクセスを許可するパソコンの IP アドレスと、サブネットマスク(IPv4)または、プレフィックス長(IPv6)を入力します。	p. 38 参照
IPsec 設定 ネットワーク環境に暗号化技術を用いることにより、データの漏えいや改ざんを防止する場合に設定します。ご使用のネットワーク環境により、設定項目が異なります。	p. 38 参照

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>IPsec 設定（外部 CI） (ComuColorExpress IS1000C 接続時 操作パネルのみ)</p> <p>本機と外部コントローラをネットワークに接続して使用する場合で、ネットワーク環境に暗号化技術を用いることにより、データの漏えいや改ざんを防ぐことが可能です。ご使用のネットワーク環境により、設定項目が異なります。</p> <p> ● ネットワークの設定中は、外部 CI コントローラの電源は切らないでください。また、より詳細なネットワークの設定は、外部コントローラのユーティリティ画面に行ってください。 ● 外部コントローラを接続して使用する場合でも、本設定だけではなく [IPsec 設定] も設定してください。外部コントローラを使わずにプリントしても、[IPsec 設定] の設定でデータが守られます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無効、有効 登録外パケットの受信制限 <u>制限しない</u>、制限する セキュリティポリシー名 0～10（追加、変更、消去、優先度の入れ替えが可能） セキュリティポリシー設定 [基本] を設定する 登録名 事前共有キー 指定方法 セキュリティポリシー適用範囲 <u>制限しない</u>、制限する 適用アドレス プレフィックス長（IPv6 のみ） [IKE] を設定する IKE モード 暗号化アルゴリズム HASH アルゴリズム DH グループ [通信設定] を設定する 通信の有効期間 認証アルゴリズム 暗号化アルゴリズム HASH アルゴリズム PFS DH グループ <p>操作方法については、「IPsec」を参照してください。（p. 38 参照）</p>
<p>プリント終了ジョブ設定</p> <p>プリンターモードの【終了】画面に、終了ジョブを保存するかどうかを設定します。保存する場合、保存の期間と、再プリントの禁止／許可を設定します。再プリントを【禁止】に設定すると、【終了】画面に【プリント】は表示されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <u>保存しない</u>、保存する 保存時間、保存日数、保存ジョブ数（いずれか 1 つ選択） 1～99 (工場出荷時：保存日数 1 日) 再プリントの許可 禁止、許可

設定項目／内容	設定値／詳細
<p>プリント指示待ちジョブ設定</p> <p>プリンターモードの【指示待ち】画面の指示待ちジョブを、一定期間で、自動消去するかしないかを設定します。設定した保存期間で、自動的に消去します。また、パソコンから受信した全てのジョブを、指示待ちジョブにするかどうかの設定をします。</p> <p>指示待ちジョブには、指定した時間内のジョブを指示待ちリストに追加し、自動でプリントを開始する時間を設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔受付時間〕 <p>指示待ちにするジョブの受付時間と、受付時間が終了した時に自動でプリントをするかどうかの設定をします。</p> <p>〔受付時間〕の開始時刻と解除時刻は、テンキーで入力することができます。</p> <p> ● [タイマー運転] が設定されていても、指示待ちジョブが設定されている場合、本機の副電源は OFF しません。 ● 停電や、故意によって本機の主電源が OFF された場合、プリントは自動で開始しません。 ● 本機能は、[ログイン設定] が [不要] の場合に有効となります。[ログイン設定] が [必要] の場合は、指定した時刻になんでもプリントを開始しません。 ● [受付時間] 内に、[プリント指示待ちジョブ設定] の保存期間が経過したジョブは削除されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自動消去しない</u>、自動消去する ・ 保存分数、保存時間、保存日数（いずれか 1 つ選択） 1 ~ 99 (工場出荷時：保存時間 1 時間) ・ パソコンから受信した全てのジョブを「指示待ち」にしますか？ <u>いいえ</u>、はい ・ 受付時間 <u>設定しない</u>、設定する ・ 開始時刻、解除時刻 時：0 ~ 23 分：0 ~ 59 ・ 受付時間の終了時に、自動的に印刷を開始しますか？ <u>いいえ</u>、はい
<p>プリント領域切替</p> <p>本機では、原稿サイズに関わらず、用紙の周囲にはプリントできない部分（余白）があります。ここでは、余白の大きさを切り替える設定をします。通常は、[標準] でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準] <p>上下左右 3mm の余白ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [最大] <p>上下左右 1mm の余白ができます。</p> <p> [最大] に設定した場合、原稿によっては、プリンター内部（搬送路内）がインクで汚れるおそれがあります。 その結果、用紙の端や裏面が汚れることがあります。</p>	<p><u>標準</u>、<u>最大</u></p>
<p>封筒給紙設定</p> <p>封筒印刷時に、画像処理を封筒に適した設定にして、インク汚れや画像のぼやけを防ぎます。用紙トレイの【給紙設定】で【封筒】を選択している場合に働きます。</p> <p> [印字コントロール] を [あり] にすると、プリント速度が遅くなります。プリント速度よりも仕上がりを優先する場合に設定してください。</p> <p> プリンタドライバの【封筒画像処理】と合わせて設定することをおすすめします。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「封筒画像処理」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印字コントロール <u>なし</u>／<u>あり</u>

設定項目／内容	設定値／詳細
モード別排紙先設定（マルチフィニッシャー、排紙台接続時） コピー モードの機能一覧【排紙先選択】が【オート】に設定されている場合や、プリンタドライバの【排紙先】（仕上げタブ）が【オート】に設定されている場合に、どのトレイに優先的に排紙するかを、モード別に設定します。（ステーブル、パンチ、紙折りなど、仕上げの機能を設定する場合は、この優先度とは関係なく排紙されます。）	<ul style="list-style-type: none"> マルチフィニッシャー接続時 <u>フェイスダウン排紙トレイ</u>、トップトレイ、スタックトレイ 排紙台 W 接続時 <u>フェイスダウン排紙トレイ</u>、排紙台 W オートフェンス排紙台接続時 <u>フェイスダウン排紙トレイ</u>、オート排紙台 大容量排紙ユニット接続時 <u>フェイスダウン排紙トレイ</u>、大容量排紙ユニット
オート排紙台フェンス設定（オートフェンス排紙台接続時） オートフェンス排紙台に用紙があるときに、排紙フェンスオープンボタンを押した場合に動かすフェンスを設定します。	エンド、サイド、両方
ジョブ名表示切替 プリンターモードのジョブリストに表示するジョブ名を、公開するかどうかを設定します。「公開しない」に設定した場合、ログインが必要な環境では、ログインしたユーザー以外のジョブは「*****」で表示されます。管理者権限を持つユーザーがログインしている場合は、この設定に関わらず、全てのジョブ名が公開されます。	公開しない、 <u>公開する</u>
USBメモリプリント設定 USBメモリを本機にセットした場合に、自動的にプリンターモードに移行し、【ボックス選択】画面を表示するかどうかを設定します。【自動移行しない】に設定した場合、【ログイン】画面が表示されます。すでにログイン済みでUSBメモリを本体に接続した場合、【ボックス選択】画面に移行します。	自動移行しない、 <u>自動移行する</u>
カラー／白黒判定レベル コピー モードまたはスキャナーモードの【カラーモード】を【オート】に設定している場合に、カラー原稿か白黒原稿かを自動判別するレベルを設定します。数値が大きいほど、カラー原稿として判定しやすくなります。	1、2、 <u>3</u> 、4、5
追加コピー機能 コピー モードの【機能一覧】画面にある【追加コピー】機能の有効／無効を設定します。  【追加コピー】は、直前にコピーしたジョブを再度コピーする機能です。	無効、有効
大容量給紙ユニット設定（大容量給紙ユニット接続時） 用紙がなくなったときや、給紙台上下ボタンを操作（短押し）したときの給紙台下降位置を設定します。給紙台の停止位置は、3段階で設定することができます。	p. 40 参照

設定項目／内容	設定値／詳細
大容量排紙ユニット設定（大容量排紙ユニット接続時） 大容量排紙ユニットへ印刷物を排紙した時や、印刷の途中で一時停止をした時の、排紙台の下降位置を設定します。排紙台の停止位置は、「台車まで下降する」または、任意の位置を設定することができます。  <ul style="list-style-type: none"> ● [排紙台を下降しない] に設定すると、ジョブ終了時に排紙台が下降しません。1ページ多ジョブ（バリアブル印刷）や、少量の印刷物を出力する場合に適した設定です。また、印刷物が少量の場合に、排紙台が印刷位置に戻るまでの待ち時間が短縮できます。 ● [台車まで下降する] に設定すると、印刷物の枚数に関係なく、ジョブ終了時に排紙台が台車まで下降します。大量の印刷物を台車ごと引き出す場合に、排紙台下降ボタンを押す必要がありません。ただし、印刷物を取り出し、排紙台が印刷位置に戻るまで次のジョブを印刷することができません。 ● [指定した位置まで下降する] に設定すると、ジョブ終了時に、排紙台が指定した位置まで下降します。台車を使わずに印刷物を取り出す場合に、取り出しやすい位置を設定できます。 ● 排紙台に3200枚～4000枚相当を排紙した場合は、[大容量排紙ユニット設定] の設定値に関係なく排紙台は、台車まで下降します。 	排紙台を下降しない、台車まで下降する、指定した位置まで下降する 数値入力：150～400mm (工場出荷時：150mm)

スキャナー

設定項目／内容	設定値／詳細
スキャンデータ保存設定 スキャナーモードで、本機内蔵ハードディスクに保存したデータを、一定期間で、自動消去するかしないかを設定します。設定した保存期間で、自動的に消去します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自動消去しない</u>、自動消去する ・ 保存分數、保存時間、保存日数（いずれか1つ選択） 1～99 (工場出荷時：保存日数 1日)
スキャナー確認切替 モード選択画面からスキャナーモードに入る際に、保存形式の確認画面を表示するかどうかを設定します。保存形式の確認画面については、「らくらく使いかたガイド」の「スキャナーモード画面」を参照してください。	表示しない、 <u>表示する</u>
スキャナー保存先登録 スキャンデータの保存先を、最大256件まで登録できます。 ここで登録した保存先は、スキャナーモードの【保存先／宛先】画面に表示されます。また、データ保存先の設定が正しく登録されているかを【通信テスト】機能で確認することができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示名 ・ 転送プロトコル FTP、SMB、SMB（UNC表記） ・ 保存先サーバーのIPアドレスまたはURL ・ 保存先 ・ 保存先の共有名 ・ 保存ディレクトリ ・ 保存先ログイン名 ・ 保存先ログインパスワード ・ 通信テスト <p>p. 41 参照</p>  <p>[転送プロトコル]の設定により、設定項目が異なります。</p>

設定項目／内容	設定値／詳細
メール宛先登録 スキャンデータをメールで送付する宛先を、最大 300 件まで登録できます。ここで登録した宛先は、スキャナーモードの【保存先／宛先】画面に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・メールアドレス ・表示名 ・見出し属性 ・CSV ファイルの読み込み * ・CSV ファイルに書き出し * <p>* RISO コンソールのみ、メール宛先ファイルの読み込みと書き出しができます。</p>
メール宛先直接入力切替 スキャンデータの保存先を指定する際に、メールアドレスの直接入力を許可するかどうかを設定します。【許可】に設定すると、スキャナーモードの【保存先／宛先】画面に、直接入力ボタンが表示されます。【禁止】に設定すると、【メール宛先登録】で設定した宛先以外には、送信できません。	禁止、許可
メール送信設定 スキャンデータをメール送信するために必要な、メールサーバーに関する設定をします。送信元メールアドレスは、メール受信時に「送信者欄」に表示されるアドレスです。また、メールサーバーの設定が正しく登録されているかを【通信テスト】機能で確認することができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・送信メールサーバー (SMTP) ・ポート番号 ・送信元メールアドレス ・暗号化プロトコル ・送信メールサーバーへの認証 ・認証アカウント名 ・認証パスワード ・送信メール最大容量：1～500MB (工場出荷時 5MB) ・送信タイムアウト：30～300 秒 (工場出荷時 60 秒) ・通信テスト <p> ● 【送信メールサーバーへの認証】の設定により、設定項目が異なります。</p> <p>● メールサーバーの設定後、【通信テスト】を押してください。設定が正しい場合は、確認画面が表示されます。通信が失敗した場合は、設定内容を再度確認してください。</p>

IC カードリーダー（オプション）接続時の設定

IC カードリーダーを接続した場合、以下の管理者設定項目で追加の設定が必要です。

該当機能	設定機能	詳細
ログイン設定	指示待ちジョブのプリント自動開始の有無を設定する	p. 25 参照
ユーザー設定	IC カード情報を本機に登録する	p. 26 参照
ログイン手段切替	ログイン認証の手段を設定する	p. 13 参照



他の管理者設定項目は、IC カードリーダー接続無しの場合と同等です。必要な管理者設定を行ってください。

ユーザー登録をする

本機を使用するユーザーを登録するための管理者設定は、複数の項目があります。
運用方法によっては、設定の必要がない機能もあります。



設定には順番があります。必ず下記表の順番で設定してください。

順番を間違えると、やり直し作業が発生してしまいますのでご注意ください。

順番	管理者設定機能名	対象	設定内容	補足事項など
1	ログイン設定	本機を使用するユーザーを制限する場合に設定が必要です。	■ ログインの不要／必要	プリンター、コピー、スキャナーモードのうちひとつでも「必要」に設定した場合、ユーザー設定が必要になります。
			■ 自動ログアウト時間	
2	グループ設定	ボックス機能を使用し、共有ボックスを作成する場合に設定が必要です。	共有ボックスに利用できるグループを設定します。	ここで設定したグループは、他の設定でも使用されます。(p. 25 参照)
3	見出し設定	ユーザーリストからログインする場合や、「メールの宛先表」を使用するときに、ユーザー名の見出しを設定しておくと探しやすくなります。	6 個の「見出し」ボタンに、任意の文字を割り当てます。 全角 1 文字、または半角 3 文字	工場出荷時は、50 音順に設定されています。
4	ユーザー設定	ログインを許可するユーザーを登録します。	■ ユーザー名 ■ 仮パスワード (1 ~ 16 文字) ■ パソコンログイン ID ■ 所属グループ (任意) ■ 見出し属性 (任意) ■ 管理者権限 ■ 各モードへのログインの禁止/許可 (任意)	コンソールの管理者設定「ユーザー設定」には、「CSV ファイルの読み込み / 書き出し」機能があります。大勢のユーザーを登録する場合に便利です。



● 設定には順番があります。必ず上記表の順番で設定してください。

● 外部サーバー認証を設定する場合、ユーザーの登録は不要です。

ログイン設定

各モードに入る際に、ログインを必要とするかどうかと、ログイン後の動作を設定します。本機を使用するユーザーを制限したい場合に設定します。「必要」に設定した場合は、必ず「ユーザー登録をする」の2～4を設定してください。

【設定内容】

・ 各モードへのログイン設定

設定値：不要、必要（工場出荷時 不要）

・ 自動ログアウト時間

本機を一定時間操作しなかった場合に、自動的にログアウトする時間を設定します。

設定値：10～3600秒（工場出荷時 300秒）

・ 指示待ちジョブのプリント自動開始

（ICカードリーダー接続時のみ）

プリンターモードログイン時に、指示待ちジョブのプリントを自動的に開始するかどうかを設定します。

設定値：しない、する（工場出荷時 する）

① 【管理者設定】画面で、[ログイン設定] を押す

② 各設定をする



ICカードリーダー接続時は、プリンターモードの [詳細設定] から [指示待ちジョブのプリント自動開始] を設定してください。

モード	設定
プリンターモード	不要 (選択)
コピー モード	不要
スキャナーモード	不要

自動ログアウト時間
300
(10-3600秒)

③ [確定] を押す



この機能はRISOコンソールから設定することもできます。（p. 11参照）

グループ設定

ユーザーの属性を示すグループを設定します。ここで設定したグループは、[ユーザー設定] の [所属グループ選択] で使用されます。グループは、最大60個まで設定できます。

① [管理者設定] 画面で、[グループ設定] を押す

② [追加] を押す

グループ名
Group_1
Group_2
Group_3
Group_4
Group_5
Group_6
Group_7
Group_8
Group_9
Group_10

追加 | 変更 | 消去

③ グループ名を入力し、[確定] を押す



- グループの設定内容の変更や消去を行う場合は、以下の操作を行ってください。

グループ名を変更する場合：

[グループ設定] 画面でグループを選択し、[変更] を押し、グループ名を修正する。

消去する場合：

[グループ設定] 画面でグループを選択し、[消去] を押す。

- ここで設定したグループは、以下の設定でも使用されます。

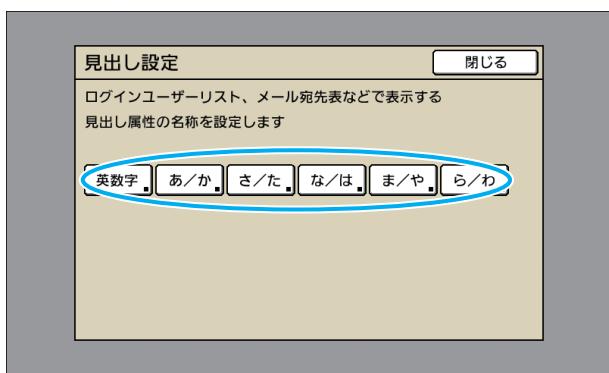
[共有ボックス設定] の [許可グループ選択]、[アカウント情報] (RISOコンソールのみ)、[ユーザー設定] の [所属グループ]

- この機能はRISOコンソールから設定することもできます。（p. 11参照）

見出し設定

[ログイン] 画面の [ユーザーリスト] や [メールの宛先表] などで表示する見出しボタンの名称を設定します。ここで設定した見出しボタンは、[ユーザー設定] の [見出し属性] で使用されます。

- ① [管理者設定] 画面で、[見出し設定] を押す
- ② 変更したい見出しボタンを押す



- ③ 見出し名を入力し、[確定] を押す



この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

ユーザー設定

[ログイン設定] を [必要] に設定している場合に、本機を使用するユーザーの登録をします。各ユーザーの属性や使用権限などを設定します。

【設定内容】

- ・ **ユーザー名**
ログインする際のユーザー名を設定します。
- ・ **仮パスワード**
仮パスワードを設定します。
半角英数字 1 ~ 16 文字以内で入力してください。
使用できない文字：“ / [] : + { < > = ; , * ? ¥ _ ‘ ’ ”
- ・ **パソコンログイン ID**
登録ユーザーがプリントする際に使用する、パソコンのログイン ID を入力します。
- ・ **所属グループ**
ユーザーの所属グループを最大 3 個登録できます。
あらかじめ [グループ設定] を設定する必要があります。
- ・ **見出し属性**
登録ユーザーがどの見出しに属するかを設定します。
あらかじめ [見出し設定] で、見出しボタンの名称を設定する必要があります。
- ・ **管理者権限**
登録ユーザーに、管理者権限を与えるかどうかを設定します。
設定値：なし、あり
- ・ **各モードへのログインの禁止／許可**
登録ユーザーが使用できるモードを設定します。
設定値：禁止、許可
- ・ **CSV ファイルの読み込み (RISO コンソールのみ)**
パソコンから本機のHDDにユーザーリストのファイルを読み込みます。
- ・ **CSV ファイルに書き出し (RISO コンソールのみ)**
本機のHDDからパソコンにユーザーリストのファイルを書き出します。

・機能制限

プリンターモード／コピーモードの機能制限を設定します。両モードの機能制限を一括して、設定することもできます。

- カラーコピー／カラープリント可否

登録ユーザーがカラーコピー、カラープリントを行うことを、許可するかどうかを設定します。
設定値：禁止、許可

- カラー枚数制限

カラーコピー、カラープリントの使用枚数の上限を設定します。
設定値：制限しない、制限する（1～99999枚）

- 単色枚数制限

単色コピー、単色プリントの使用枚数の上限を設定します。

設定値：制限しない、制限する（1～99999枚）



[プリント／コピー機能制限設定] の設定により、[機能制限] 画面の設定項目が異なります。



ユーザー設定をする前に、[グループ設定] と [見出し設定] を行ってください。(p. 25～p. 26 参照)

1 [管理者設定] 画面で、[ユーザー設定] を押す

2 [追加] を押す

ユーザー設定

理想太郎	User name
User name	User name
全表示	
英数字	
あ／か	
さ／た	
な／は	
ま／や	
ら／わ	

閉じる

01/30

▼

▲

追 加 | 変 更 | 消 去 | カード登録

3 ユーザー名を入力し、[次へ] を押す

追加 (1)

ユーザー名 (1～10文字)		取 消	次 へ								
理想花子		消去									
英小文字	英大文字	ひらがな	カタカナ								
あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	あ	や
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	ろ	を	い	ゆ
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	う	よ
え	け	せ	て	ね	へ	め	れ	れ	え	つ	無変換
お	こ	そ	そ	と	の	ほ	も	ろ	ろ	お	一
変換											

4 仮パスワードを設定し、[次へ] を押す

追加 (2)

仮パスワード (1～16文字)				取 消	次 へ				
				消去					
英小文字	英大文字	ひらがな	カタカナ						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
q	w	e	r	t	y	u	i	o	p
a	s	d	f	g	h	j	k	l	
z	x	c	v	b	n	m	[]	
-	^	;	:		.	.	/	¥	

5 仮パスワードを再入力し、[次へ] を押す

6 各設定をする

追加 (4)

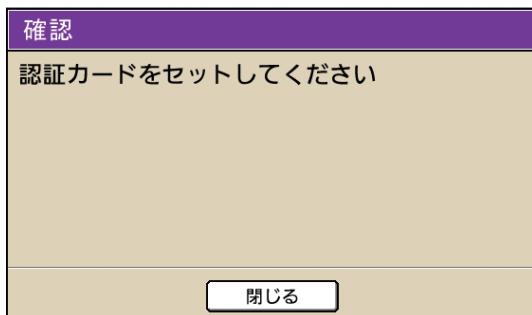
ユーザー名	パソコンログインID	所属グループ
理想花子	(未登録)	(未登録)
見出し属性	管理者権限	
あ／か	なし	あり
フ リンターモード		禁 止 許 可 機能制限
コ ピー モ ド		禁 止 許 可 機能制限
ス キ ャ ナ モ ド		禁 止 許 可

- プリンターモードの [ログイン設定] を [必要] に設定している場合、[パソコンログイン ID] を間違えると、パソコンからジョブを受信できません。入力後、必ず再確認してください。
- [見出し属性] の設定を必ず行ってください。

7 [確定] を押す

スキャナーが接続されている場合は、引き続き、メールアドレスの設定が行えます。表示されるメッセージに従って、設定してください。

IC カードリーダーが接続されている場合は、以下の画面が表示されます。



IC カードリーダーに、カードをセットしてください。



- ユーザーの設定内容の変更や消去を行う場合は、以下の操作を行ってください。

消去する場合：

[ユーザー設定] 画面でユーザーを選択し、[消去] を押す。

設定内容を変更する場合：

[ユーザー設定] 画面でユーザーを選択し、[変更] を押し、各設定をする。

- IC カード情報を登録すると、ユーザー名左側のユーザーマーク が、カードマーク に変更されます。

- この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

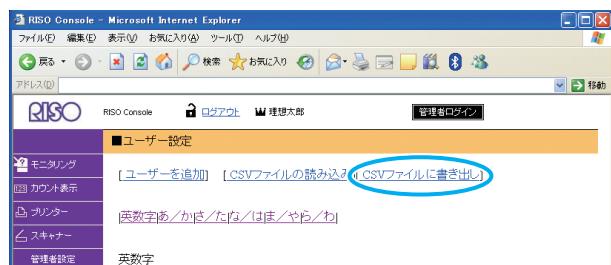
大勢のユーザーを登録する (ユーザー設定)

RISO コンソールの機能を使うと、パソコンから 1 度に大勢のユーザー設定をすることができます。パソコンにフォーマット (CSV ファイル) を保存し、ユーザー情報 (ユーザー名、PC ログイン名、管理者権限の有無等) を入力後、再度ファイルを読み込みます。

CSV ファイルについて詳しくは、「付録」を参照してください。

1 [管理者設定] 画面で、[ユーザー設定] をクリックする

2 [CSV ファイルに書き出し] をクリックし、CSV ファイルをパソコンに保存する



3 書き出した CSV ファイルを開いて、ユーザー情報を入力する

フォーマットに従って入力後、保存してください。
最大 300 人まで登録できます。



CSV ファイルのユーザー設定項目は、機能の制限や機種、オプションの接続により異なる場合があります。

4 [CSV ファイルの読み込み] をクリックし、入力したファイルを読み込む



[CSV ファイルの読み込み] が、正常に完了しなかった場合はメッセージが表示されます。

CSV ファイルの設定やユーザー登録数を再度確認してください。

IC カードリーダーが接続されている場合は、引き続き、本機に IC カードの登録を行う必要があります。

5 本機の [管理者設定] 画面で、[ユーザー設定] を押す

6 ユーザー名を選択する



CSV ファイルについて詳しくは、付録の p. 46 を参照してください。

7 [カード登録] を押す

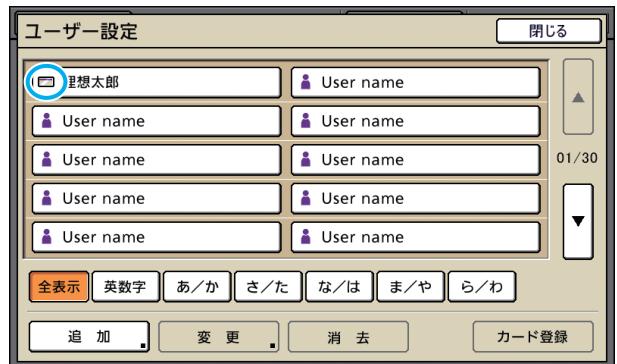


[認証カードをセットしてください] のメッセージが表示されます。

8 カードを、IC カードリーダーにセットする

登録が完了すると、「ユーザーの登録が完了しました」とメッセージが表示されます。

ユーザー名左側のマークが変更されます。



9 [閉じる] を押す

引き続きカードの登録を行う場合は、手順6～8を繰り返してください。

認証サーバー設定（外部サーバー認証）を設定する

外部サーバーを使用して、外部サーバーにアカウントを持つユーザーの認証を行う場合に設定します。
外部サーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。

外部サーバー認証を利用した場合、プリント側にユーザー情報を登録する必要がなく、外部サーバーで集中管理できます。

 外部サーバー認証を導入すると、導入前に本機に記憶（保存）されていた以下の設定が消去されます。

- 管理者設定 [ユーザー設定] に登録されていたユーザー情報
- 全ユーザーの [個人ボックス] と、[個人ボックス] に保存されていたボックスジョブ
- 管理者設定 [グループ設定] に登録されていたグループ
- 全ユーザーの [POP機能登録] [お気に入り機能登録] [初期値に登録] の設定内容

 ユーザー情報は、導入前にバックアップすることができます。

バックアップするには、RISO コンソールの管理者設定 [ユーザー設定] で、CSV ファイルをパソコンにダウンロードしてください。

外部サーバー認証によって制限される機能

外部サーバー認証機能を設定すると、管理者以外のユーザーを本機で管理しないため、利用が制限される機能があります。

■ コピーモード

- ・ 管理者以外のユーザーは、[POP エリア] と [お気に入り] 画面への機能の登録ができません。
[POP エリア] と [お気に入り] 画面には、管理者が設定した機能が表示されます。
- ・ [ボックス保存] では、[個人ボックス] を使用することができます。
- ・ 管理者以外のユーザーは、現在の設定値を [初期値に登録] したり、登録済みの設定をクリアする [初期値をクリア] の機能を使用したりすることができます。

■ ユーザー情報

- ・ 管理者以外のユーザーは、ログインパスワードの変更ができません。

■ 管理者設定

- ・ ユーザーの管理を外部サーバーで行うため、本機ではユーザーの管理およびユーザー登録をすることができません。そのため、[ユーザー設定]、[グループ設定]、[制限枚数集計リスト] を使用することができません。
- ・ IC カードリーダー接続時でも、[使用枚数制限] の登録はできません。

■ 設定項目

[認証サーバー設定] で設定する項目は、以下のとおりです。

設定項目／内容	設定値／詳細
サーバーの設定	LDAP サーバー (プライマリー／セカンダリー) ・ サーバー名：半角英数字 256 文字以内、IP アドレス ・ ポート ・ 検索用ログイン名 * ¹ ・ 検索用パスワード * ² ・ 検索起点 * ³ ・ 検索範囲 * ⁴
	Kerberos サーバー (プライマリー／セカンダリー) ・ レルム名：半角英数字 64 文字以内（大文字のみ） ・ ログイン先の表示名 * ⁵ ：全半角 10 文字以内 ・ サーバー名：半角英数字 256 文字以内、IP アドレス ・ ポート
IC カード認証の設定 認証で使用する IC カードの属性を最大 5 個まで設定できます。 また、設定した属性の有効／無効を設定します。	・ IC カードの認証に使用する属性 <u>無効</u> 、 <u>有効</u>
アクセスタイムアウト時間 認証サーバーにアクセスするときのタイムアウト時間を設定します。	設定しない、 <u>設定する</u> 5～120 秒 (工場出荷時：5 秒)
アクセスリトライ回数 認証サーバーへのアクセス失敗時のリトライ回数を設定します。	0～5 回 (工場出荷時：0 回)
キャッシュ情報設定 キャッシュ情報設定の有効／無効を設定します。[有効] に設定した場合、キャッシュ情報をリセットすることができます。	<u>無効</u> 、 <u>有効</u>
認証時の大文字と小文字の区別 認証時に大文字と小文字を区別して、別のユーザー ID と判断するかどうかを設定します。	する、 <u>しない</u>
ログイン先の設定 認証サーバー設定を使用してログインする際に、ドメインを選択する [ログイン先の選択] 画面を表示するかどうかを設定します。最大 3 個のドメインが表示されます。	表示しない、表示する
 ● [ログイン先の選択] 画面を [表示しない] に設定した場合、[認証サーバー設定] で指定した優先度に従って認証します。 ● [ネットワーク設定 (詳細)] で DNS サーバー (IPv4) / (IPv6) を [使用しない] に設定している場合は、ドメインの設定はできません。 ● Kerberos サーバーの設定が空欄の場合は、[ログイン先の選択] 画面では「LDAP サーバーの IP アドレス」が表示されます。	
ユーザー ID の属性 認証サーバーにアクセスするときのユーザー ID の属性を設定します。	半角英数字 32 文字以内

* 1 認証サーバーにアクセスするときの検索用ログイン名

* 2 認証サーバーにアクセスするときの検索用パスワード

* 3 認証サーバー上で、ユーザーを検索するときの起点となる DN (Distinguished Name)

* 4 認証サーバーにアクセスするときの検索範囲

* 5 認証サーバーにログインする際の [ログイン先の選択] 画面に表示される

① [管理者設定] 画面で、[認証サーバー設定] を押す

② [有効] を押し、認証サーバー情報の各項目を設定する



- LDAPサーバー(プライマリー／セカンダリー) や Kerberos サーバー(プライマリー／セカンダリー) は、認証するための問い合わせ先として最大 3 個(合計 6 個)まで設定できます。各サーバーの設定内容の変更や消去および認証時の問い合わせ優先度の設定を行う場合は、以下の操作を行ってください。
 - 認証先のサーバーを追加する場合：
[追加] を押し、各サーバーに関する設定を行う。
 - 設定内容を変更する場合：
[サーバー] を選択し、[変更] を押す。設定内容の詳細を変更する。
 - 消去する場合：
[サーバー] を選択し、[消去] を押す。
 - 認証時の問い合わせ優先度を設定する場合：
[サーバー] を選択し、[↑] [↓] で優先度の設定を行う。
- Kerberos サーバーを使用していない場合は、Kerberos サーバーの登録は不要です。[サーバーの設定] 画面の Kerberos サーバーは、空欄で表示されます。
- Kerberos サーバーを登録しない場合は、ICカードによる認証のみとなり、PIN コードによるログイン認証は使用できません。

③ [確定] を押す



以下の画面が表示されます。

ユーザー情報の削除中は、[処理中] 画面が表示されます。処理が完了すると、[管理者設定] 画面が表示されます。

表示されるメッセージにしたがって、設定してください。

[処理中] 画面の表示中に、本機の主電源スイッチを OFF にしないでください。誤動作、故障の原因となることがあります。

この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

外部システム連携を設定する

外部システム連携を使用して、外部のプリントサーバー（MPS ソフトウェア）にアカウントを持つユーザーの認証および、プリント／コピージョブに対して課金を行う場合に設定します。外部のプリントサーバーにアカウントがないユーザーは、認証を受けることができません。外部システム連携を利用した場合、プリント側にユーザー情報を登録する必要がなく、外部のプリントサーバーで集中管理できます。



外部システム連携を導入すると、導入前に本機に記憶（保存）されていた以下の設定が消去されます。

- 管理者設定【ユーザー設定】に登録されていたユーザー情報
- 全ユーザーの【個人ボックス】と、【個人ボックス】に保存されていたボックスジョブ
- 管理者設定【グループ設定】に登録されていたグループ
- 全ユーザーの【POP 機能登録】【お気に入り機能登録】【初期値に登録】の設定内容



ユーザー情報は、導入前にバックアップすることができます。

バックアップするには、RISO コンソールの管理者設定【ユーザー設定】で、CSV ファイルをパソコンにダウンロードしてください。

外部システム連携によって影響を受ける機能

外部システム連携を設定すると、ユーザーの管理を外部サーバーで行うため、次のような影響があります。

■ コピーモード

- ・ 管理者以外のユーザーは、【POP エリア】と【お気に入り】画面への機能の登録ができません。【POP エリア】と【お気に入り】画面には、管理者が設定した機能が表示されます。
- ・ 【ボックス保存】では、【個人ボックス】を使用することができません。
- ・ 管理者以外のユーザーは、現在の設定値を【初期値に登録】したり、登録済みの設定をクリアする【初期値をクリア】の機能を使用したりすることができます。

■ ユーザー情報

- ・ 管理者以外のユーザーは、ログインパスワードの変更ができません。

■ 管理者設定

- ・ ユーザーの管理を外部サーバーで行うため、本機ではユーザーの管理およびユーザー登録をすることができません。そのため、【ユーザー設定】、【グループ設定】、【制限枚数集計リスト】を使用することができます。
- ・ 【ログイン設定】を【不要】にした場合、ユーザー認証ができず、ジョブをプリント、コピーすることができます。【ログイン設定】は、必ず【必要】に設定してください。
- ・ 【使用枚数制限】機能は、登録はできますが外部のプリントサーバー側の使用枚数制限機能とは連動しません。



【プリント指示待ちジョブ設定】は、外部のプリントサーバー側のホールド機能と競合するため、使用することができます。

タイマー運転

曜日ごとに指定した時刻に、本機の「副電源」を自動でON/OFFするための設定です。

【設定内容】

・無効、有効

【有効】の場合、月曜日から日曜日まで曜日ごとにタイマー運転の【有効／無効】を設定します。

・曜日の指定

曜日ごとに起動時間（副電源ON時刻）と終了時刻（副電源OFF時刻）を設定します。

起動時刻、終了時刻は、[時：0-23] [分：0-59]で入力してください。

同じ設定を他の曜日にも適用したい場合は、「この設定を他の曜日にも適用しますか？」で曜日を選択してください。



- 本機が電源OFFの状態では、プリントジョブを受け付けません。
- 停電や、故意によって本機の主電源がOFFされた場合、主電源をONにしてもタイマー運転機能では、副電源がONになりません。必ず一度、手動で副電源もONにしてください。その後は、タイマー運転機能により、自動でON/OFFされます。
- 本機の主電源をOFFにしても、タイマー運転の設定は保持されます。



- プリント指示待ちジョブは、本機の副電源がOFFされても次回電源ON時まで保存されます。
- 本機の副電源がOFF時の消費電力は、スタンバイ時と同等です。

① 【管理者設定】画面で、【タイマー運転】を押す

② 【有効】を押す

The screenshot shows the 'Timer Operation' screen with the 'Effective' button highlighted in orange. Below it is a 7x2 grid table for setting timer operations for each day of the week. The table has columns for '起動' (start) and '終了' (end) times. For Monday, the start time is 08:30 and the end time is 22:00. For other days, the start time is listed but the end time is blank.

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
起動 08:30	起動 ---	起動 08:30	起動 08:30	起動 ---	起動 08:30	起動 08:30
終了 ---	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00

③ 曜日ボタンを押す

④ 【起動】と【終了】それぞれの【有効】を選択し、時刻を設定する

This screenshot shows the '曜日' (Day) configuration dialog. It has two main sections: '起動' (start) and '終了' (end). Each section has a '無効' (invalid) and '有効' (valid) button. Below these are input fields for hours (12, 24) and minutes (12, 24), with up and down arrows for selection. At the bottom, there's a question 'この設定を他の曜日にも適用しますか？' (Do you want to apply this setting to other days?) with checkboxes for each day of the week.

⑤ 時間を設定したい曜日を選択する

複数の曜日に同じ時刻を設定することができます。

⑥ 【確定】を押す

この機能を有効にした場合、終了時刻の1分前になると操作パネルに【確認】画面が表示されます。

This screenshot shows the confirmation dialog box with the title '確認' (Confirmation). The message says 'タイマー運転が設定されています。まもなく電源が切れます。' (The timer operation is set. The power will turn off soon.). Below this, it says '残り時間：60秒' (Remaining time: 60 seconds). At the bottom right is a '保留' (Hold) button.

電源をOFFしたくない場合は、【保留】を押してください。

- 画面表示から1分以内に【保留】が押されない場合は、1分後に終了処理を開始します。
- 【保留】を押すと【確認】画面をいったん消して終了処理を保留にすることができます。1分後に、再度【確認】画面が表示されます。
- 以下の場合、副電源がOFFなりません。
 - 紙詰まりやサービスコール、ユニットエラー、セット関連エラー、ワーニングエラー（用紙なしエラーを除く）が発生している場合
 - 設定時刻に本機を使用している場合
- この機能はRISOコンソールから設定することもできます。（p. 11 参照）

非理想科学製インク使用設定（操作パネルのみ）

理想科学製ではないインクを使用する場合に、色ごとに設定をします。

【設定内容】

禁止、許可

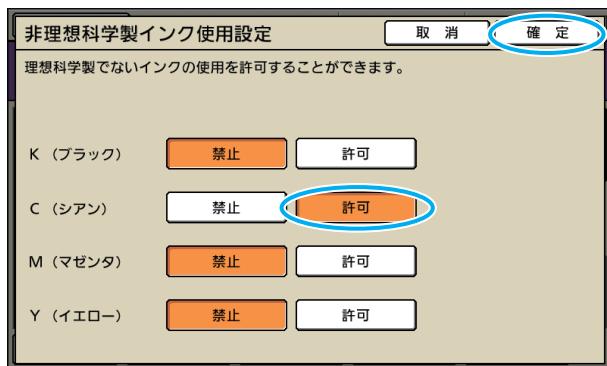


- 理想科学製ではないインクを使用する場合、以下の問題が発生するおそれがあります。
 - インク自体の性能の違いによる、印刷のかすれや色調の変化
 - インクと直に接触する部品（インクジェットヘッドやインク経路など）が、インクと化学反応を起こすことによる印刷のかすれ、あるいはヘッドの故障（交換）
 - インク経路（チューブ等）の部品がインクと化学反応を起こして変質し、経路に空気が侵入することによるインクの漏出（インク経路の交換）
- 「理想科学製ではないインクの使用」に起因する、故障や機能の低下は、製品保証およびサービス契約の対象外になります。インクジェットヘッドや、インク経路は価格の高い部品です。また、交換作業には長い時間を必要とします。
- インクカートリッジによっては、[許可] 設定をしても使用できない場合があります。

「理想科学製ではないインク」を使用する場合は、上記リスクをご理解の上、下記設定を実行してください。

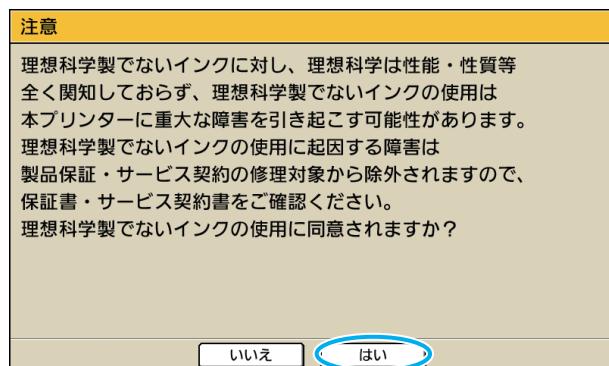
1 [管理者設定] 画面で、[非理想科学製インク使用設定] を押す

2 [許可] に設定し、[確定] を押す



ORPHIS EX7200L では [K (ブラック)]、[R (レッド)] が表示されます。

3 注意文を確認の上、[はい] を押す



ネットワーク設定 (IPv4)

本機をインターネットプロトコル Ver.4 のネットワーク環境に接続するための設定です。

【設定内容】

- ・ ネットワーク上に表示するプリンタ名
ネットワーク上に表示するプリンタ名は、半角 16 文字以内で入力してください。
(工場出荷時 RISO PRINTER)
- ・ DHCP サーバー
DHCP サーバーは、ネットワーク上の各クライアント PC に、IP アドレスを自動で割り当てます。
(工場出荷時 使用しない)
DHCP サーバーを [使用しない] 場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス

 以下の項目は、RISO コンソールで設定する場合のみ表示されます。

- ・ ドメイン名称
- ・ コメント
- ・ RISO コンソールを https で接続する
- ・ Link Speed/Duplex Mode

 この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

ネットワーク設定 (IPv6)

本機をインターネットプロトコル Ver.6 のネットワーク環境に接続するための設定です。

【設定内容】

- ・ ネットワーク上に表示するプリンタ名
ネットワーク上に表示するプリンタ名は、半角 16 文字以内で入力してください。
(工場出荷時 RISO PRINTER)
- ・ アドレス設定方法
アドレスの設定は、手動、ステートレスアドレス、ステートフルアドレスから選択します。
[手動] 選択時は、IP アドレス、ゲートウェイアドレス、プレフィックス長の数値を設定してください。
(工場出荷時 手動)
- ・ IP アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス



以下の項目は、RISO コンソールで設定する場合のみ表示されます。

- ・ ドメイン名称
- ・ コメント
- ・ RISO コンソールを https で接続する
- ・ Link Speed/Duplex Mode



この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

ネットワーク詳細設定

ネットワーク環境の詳細を設定します。ご使用のネットワーク環境により設定項目が異なります。

【設定内容】

- ・ プロキシサーバー
プロキシサーバーを使用する場合に設定します。
- ・ DNS サーバー (IPv4) / (IPv6)
DNS サーバーを使用して、ドメイン名を IP アドレスに変換します。
ご使用のインターネットプロトコルバージョンに応じた設定にしてください。
- ・ WINS サーバー
WINS サーバーを使用して、PC 名を IP アドレスに変換します。

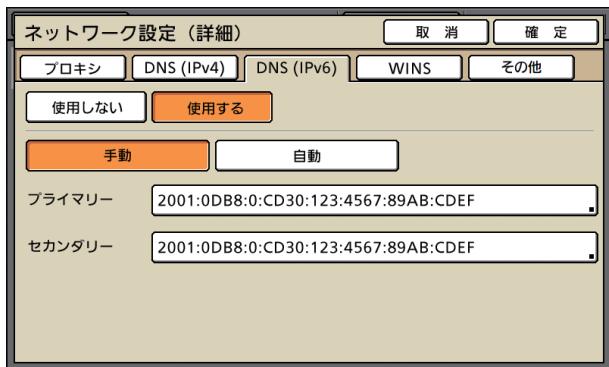
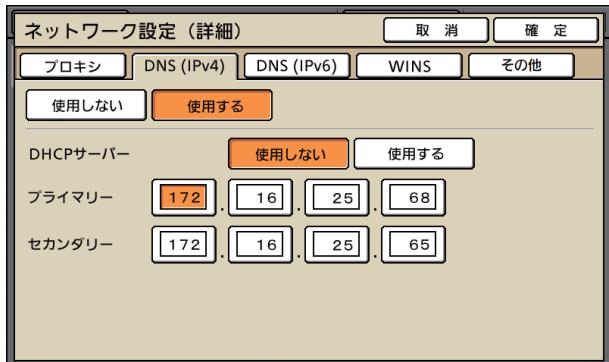
① [管理者設定] 画面で、[ネットワーク設定 (詳細)] を押す

② [プロキシ] タブを押し、各項目を設定する

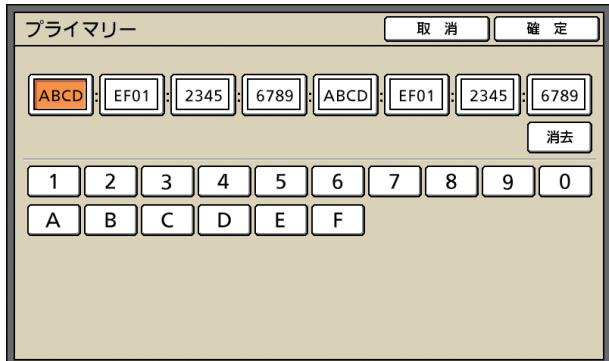


[アドレス] を押すと、アドレス入力画面が表示されます。入力したら [確定] を押してください。

3 [DNS (IPv4)]、[DNS (IPv6)] タブを押し、各項目を設定する



[プライマリー]、[セカンダリー] を押すと、アドレス入力画面が表示されます。各項目を入力したら [確定] を押してください。



4 [WINS] タブを押し、各項目を設定する



RISO コンソールを https で接続する場合は、[その他] タブで [RISO Console 接続方法] の設定が必要です。

5 [確定] を押す

- プロキシサーバーを [使用する] に設定した場合は、ユーザー名、パスワードの設定が必要です。
- この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)
- RISO コンソールを https * で接続する場合は、ネットワークの伝送モード [Link Speed/Duplex Mode] の設定が必要です。(RISO コンソールのみ)

* https は、プロトコル http に暗号機能が付加されます。

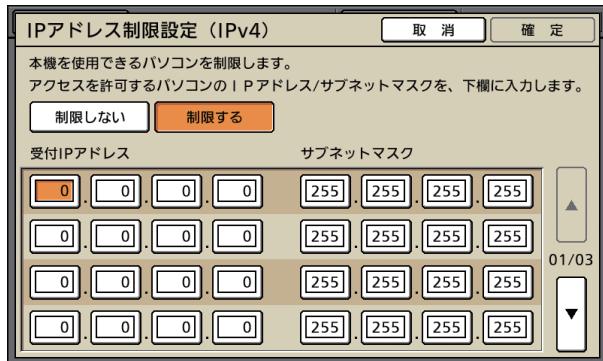
IP アドレス制限設定 IPv4 / IPv6

本機にアクセスできるパソコンを指定します。

【設定内容】

- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク (IPv4 使用時)
- ・ プレフィックス長 (IPv6 使用時)

- ① [管理者設定] 画面で、[IP アドレス制限設定 (IPv4) / (IPv6)] を押す
- ② [制限する] を選択し、アクセスを許可するパソコンの IP アドレスとサブネットマスクまたは、プレフィックス長を設定する



- 1台のパソコンを指定してアクセスを許可する場合
指定するパソコンの IP アドレスに対して、サブネットマスク : 255.255.255.255 を設定します。

- 複数のパソコンからアクセスを許可する場合
パソコンの IP アドレスに対して、サブネットマスク : 255.255.255.0 を設定します。

例) IP アドレス : 192.168.0.100 を設定した場合、"192.168.0. 0" ~ "192.168.0. 255" のパソコンがアクセス可能となります。
それ以外の IP アドレスを持つパソコンは、アクセスできません。



[確定] を押す



この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

IPsec 設定

ユーザー環境で使用するネットワーク環境に暗号化技術 (IPsec) を設定して、データの漏えいや改ざんを防止し、セキュリティを強化します。



[IPsec 設定] の [セキュリティポリシー設定] は、ご使用のネットワーク環境により設定項目が異なります。

【設定内容】

- ・ IPsec 設定
無効、有効
- ・ セキュリティポリシー
セキュリティポリシーの詳細を最大 10 個登録できます。
また、[基本]、[IKE]、[通信設定] タブで各機能の詳細を設定します。[基本] タブは IPv4 と IPv6 それぞれに設定項目があります。



[管理者設定] 画面で、[IPsec 設定] を押す

2 [有効] を押す



IPsec設定

取消 確定

優先度 セキュリティポリシー

01	無効	有効	ABC
02	無効	有効	DEF
03	無効	有効	GHIJ

追加 変更 消去 ↑ ↓

3 セキュリティポリシーごとの [有効] [無効] を設定する



- セキュリティポリシーは最大 10 個登録できます。また、[↑] [↓] で優先度を入れ替えることができます。
- セキュリティポリシーの追加や設定変更、削除を行わない場合は [確定] を押してください。

4 [追加] を押し、[セキュリティポリシー設定] 画面を表示させる



登録済みのセキュリティポリシーの設定を変更、または消去する場合は、該当するセキュリティポリシーを選択し、[変更] または [消去] を押してください。

5 [基本] タブを押し、各項目を設定する



セキュリティポリシー設定

取消 確定

基 本 IKE 通信設定

登録名 セキュリティポリシー名

事前共有キー abcde

指定方法 IPアドレス (IPV4) IPアドレス (IPv6)

セキュリティポリシー適用範囲 制限する 制限しない

適用アドレス 172.16.25.68

[登録名]、[事前共有キー] を押すと各設定画面が表示されます。

セキュリティポリシーの登録名、事前共有キーは、半角英数字 32 文字以内で入力してください。



セキュリティポリシー設定

取 消 確 定

基 本 IKE 通信設定

登録名 セキュリティポリシー名

事前共有キー abcde

指定方法 IPアドレス (IPV4) IPアドレス (IPv6)

セキュリティポリシー適用範囲 制限する 制限しない

適用アドレス 2001:0DB8:0:CD30:123:4567:89AB:CDEF

- ご使用のネットワーク環境により設定項目が異なります。[▲] [▼] でスクロールし、各項目を設定してください。
- [登録名] を押すと、[登録名] 画面が表示されます。入力したら [確定] を押してください。
- [事前共有キー] を押すと、[事前共有キー] 画面が表示されます。入力後 [次へ] を押すと、[事前共有キー(再入力)] 画面が表示されます。事前共有キーを再入力したら、[確定] を押してください。
- 登録済みのセキュリティポリシー名を入力した場合、[確認] 画面が表示されます。メッセージに従って入力しなおしてください。

6 [IKE] タブを押し、各項目を設定する



セキュリティポリシー設定

取 消 確 定

基 本 IKE 通信設定

暗号化アルゴリズム 3DES-CBC AES-CBC_128 AES-CBC_192 AES-CBC_256

HASHアルゴリズム SHA-1 SHA-256 SHA-384

DHグループ G2 G14

7 [通信設定] タブを押し、各項目を設定する



8 [確定] を押す

セキュリティーポリシー設定の詳細が設定され、[IPsec 設定] 画面に戻ります。

9 [確定] を押す

 この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

大容量給紙ユニット設定

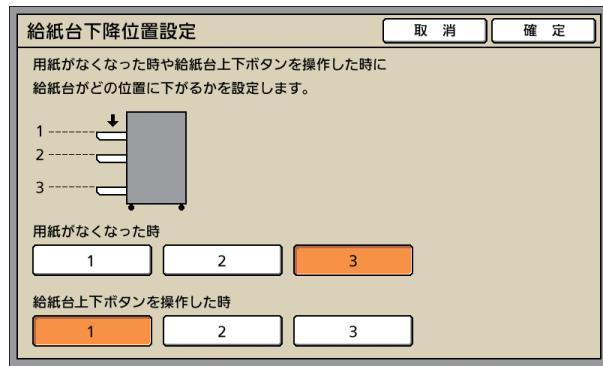
用紙がなくなったときや、給紙台上下ボタンを押したときの給紙台下降位置を設定します。

【設定内容】

- 用紙がなくなった時
設定値：1、2、3（工場出荷時 3）
- 給紙台上下ボタンを操作した時
設定値：1、2、3（工場出荷時 1）

1 [管理者設定] 画面で、[大容量給紙ユニット設定] を押す

2 各設定をする



-  [用紙がなくなった時] が [3] の場合、用紙がなくなると給紙台が最下位まで下がります。一度により大量の用紙をセットすることができますが、しゃがみ込んだ体勢で用紙をセットすることになります。
[1] または [2] に変更すると、給紙台は最下位まで下がらず停止するため、立位で用紙をセットすることができます。
- [給紙台上下ボタンを操作した時] が [1] または [2] の場合、給紙台の下降位置を段階的に下げることで立位のまま多枚数をセットすることができます。

3 [確定] を押す

-  設定した給紙台下降位置よりも、給紙台が下にあるときに給紙台上下ボタンを押すと、次の番号の位置まで下がります。
- この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

スキャナー保存先登録

スキャンデータの保存先として、ネットワーク上のパソコンを登録します。

【設定内容】

・ 表示名

保存先の表示名は、全角 10 文字、半角 20 文字以内で入力してください。

・ 転送プロトコル

[FTP][SMB][SMB(UNC表記)]から設定してください。

・ 通信テスト

スキャンデータの保存先の設定が正しく登録されているかを確認できます。



転送プロトコルの設定により、以下の設定項目が異なります。設定項目は、半角 256 文字以内で入力してください。

- ・ 保存先サーバーの IP アドレスまたは URL
- ・ 保存先
- ・ 保存先の共有名
- ・ 保存ディレクトリ
- ・ 保存先ログイン名
- ・ 保存先ログインパスワード

1 【管理者設定】画面で、[スキャナー保存先登録] を押す

2 [追加] を押し、スキャナー保存先の追加画面を表示させる

③ 各項目を設定する

転送プロトコルで FTP サーバーを選択した場合



- [保存先ディレクトリ] は、FTP サーバーで設定した保存先のフォルダ名を設定します。
- [保存先ログイン名] は、パソコンで使用しているユーザー名を設定します。
- [保存先ログインパスワード] は、上記ユーザー名で使用するパスワードを設定します。

④

設定が正しく登録されているかを確認するため、[通信テスト] を押す

処理中画面が表示されます。通信が完了すると [確認] 画面が表示されます。

⑤

[確認] 画面のメッセージを確認し、[閉じる] を押す

[追加] 画面に戻ります。



通信が失敗した場合は、スキャナ保存先のサーバーと、ネットワークの環境を確認してください。解決できない場合は、手順 3 の設定を再度確認してください。

⑥

[確定] を押す



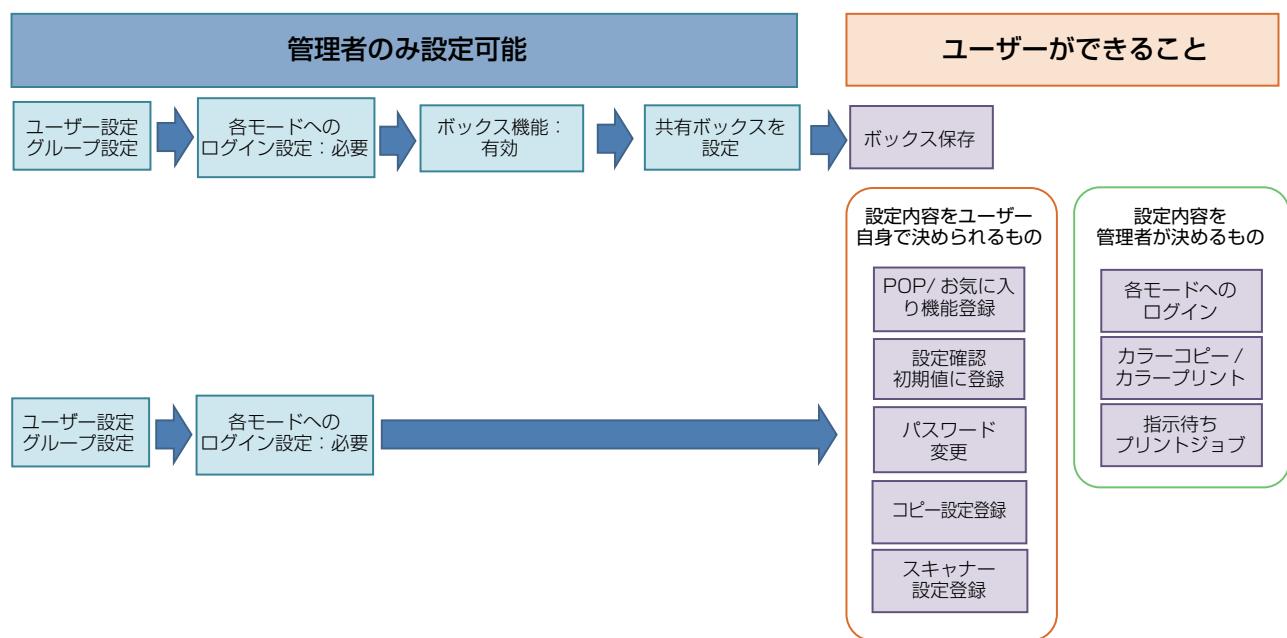
この機能は RISO コンソールから設定することもできます。(p. 11 参照)

管理者の設定により影響を受ける機能

機能相関図

管理者設定は本機を管理すると同時に、使用環境に合わせて設定するとより便利になります。以下の相関図を参考に、お客様の環境にあった設定でお使いください。

■ 管理者設定により、ユーザーが利用できる機能



管理者側の設定で、各ユーザーの使用できる機能は決まります。

次の機能を、各ユーザーが使用できるようにするには、管理者側で以下の設定を行います。

ユーザーが使用できる機能	管理者側で設定すること
POP/お気に入り機能登録 (POPエリアとお気に入り画面に、よく使う機能を登録する)	<ul style="list-style-type: none">【ユーザー設定】でユーザーを登録【ログイン設定】を【必要】にする <p> 【ログイン設定】が【不要】の場合、POPエリア・お気に入り画面には管理者が登録した内容が表示されます。</p>
初期値に登録 設定確認 (コピーとスキャナーでよく使う機能を、初期値として登録する)	<ul style="list-style-type: none">【ユーザー設定】でユーザーを登録【ログイン設定】を【必要】にする
指示待ちプリントジョブ (パソコンからの印刷データを、ログインしてからプリントする)	<ul style="list-style-type: none">【ユーザー設定】でユーザーを登録【ログイン設定】を【必要】にする
パスワードの変更 (ログインパスワードを変更する)	<ul style="list-style-type: none">【ユーザー設定】でユーザーを登録【ログイン設定】を【必要】にする
ボックス保存（個人ボックス） (個人ボックスを作成し、プリント・コピーで読み取ったデータを個人ボックスに保存する)	<ul style="list-style-type: none">【ユーザー設定】でユーザーを登録【ログイン設定】を【必要】にする【ボックス機能】を【有効】にする

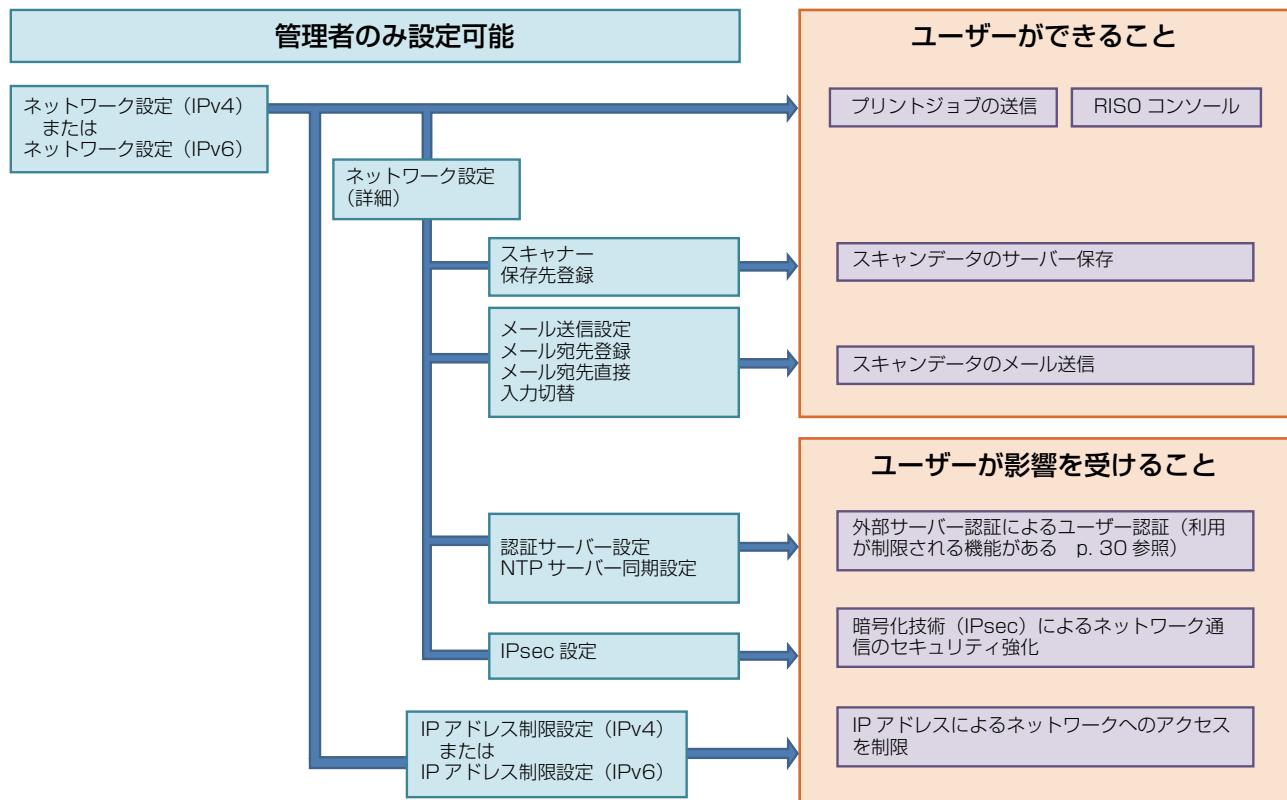
ユーザーが使用できる機能	管理者側で設定すること
ボックス保存（共有ボックス） (プリント・コピーで読み取ったデータを共有ボックスに保存する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [グループ設定] でグループを登録 ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録 ・ [ログイン設定] を「必要」にする ・ [ボックス機能] を「有効」にする ・ [共有ボックス] を設定する

次の機能を、各ユーザーごとに使用を制限する場合は、管理者側で以下の設定を行います。
[ログイン設定] が「不要」の場合は、制限される機能はありません。

ユーザーごとに制限される機能	管理者側で設定すること
モード選択 (プリンター、コピー、スキャナーの各モードの使用を禁止する、または各モード使用時にパスワードの入力を必要にする)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録、制限するモードを設定 ・ [ログイン設定] を「必要」にする
カラーコピー / カラープリント (カラーコピー／カラープリントの使用可否を制限する、カラーおよび単色のコピー／プリント枚数を制限する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ユーザー設定] でユーザーを登録、機能制限を設定 ・ [ログイン設定] を「必要」にする

■ ネットワーク設定により、影響を受ける設定項目とユーザーへの影響

本機をネットワークに接続して使用する場合は、[ネットワーク設定 (IPv4) / (IPv6)]、[ネットワーク設定 (詳細)] を先に設定しないと各機能の設定ができません。必ず [ネットワーク設定 (IPv4) / (IPv6)]、[ネットワーク設定 (詳細)] をおこなってから、各機能の設定をしてください。



管理者側の設定で、各ユーザーのネットワークを利用する機能は決まります。

次の機能を、各ユーザーが使用できるようにする場合は、管理者側で以下の設定を行います。

ユーザーが使用できる機能	管理者側で設定すること
ネットワーク環境で、プリントジョブを送信、RISO コンソールを利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] ・ [ネットワーク設定 (IPv6)]
スキャンデータをサーバーに保存する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [スキャナー保存先登録] ・ サーバー名で保存先を指定する場合は [ネットワーク設定 (詳細)]
スキャンデータをメールで送信する	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [メール送信設定] ・ [メール宛先登録] ・ [メール宛先直接入力切替] ・ サーバー名でメールサーバーのアドレスを指定する場合は [ネットワーク設定 (詳細)]

管理者側で以下の機能を設定すると、ネットワークへのアクセス制限が働き、ユーザーへ次のような影響ができます。

ユーザーへの影響	管理者側で設定すること
ネットワーク環境で、IP アドレスによるプリントジョブの送信、RISO コンソールの利用を制限する	・ [ネットワーク設定 (IPv4)] ・ [IP アドレス制限設定 (IPv4)]
	・ [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [IP アドレス制限設定 (IPv6)]
暗号化技術 (IPsec) で、プリントジョブを送信する	・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [IPsec 設定] ・ [ネットワーク設定 (詳細)]
外部サーバー認証を行ってユーザーを制限する	・ [ネットワーク設定 (IPv4)] または [ネットワーク設定 (IPv6)] ・ [認証サーバー設定] ・ [ネットワーク設定 (詳細)] ・ [NTP サーバー同期設定]

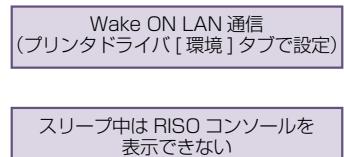
■ 管理者設定により、本機の機能が制限されるもの

認証サーバーや外部システム連携を [有効] に設定したり、本機がスリープ時の消費電力を [少ない] に設定すると、使用できない設定や機能があります。

認証サーバー設定を [有効] にすると制限される機能



省電力設定 スリープ時の消費電力を [少ない] に設定すると制限される機能



[外部システム連携] を [有効] にすると制限される機能



付録

インポートする CSV ファイル形式

RISO コンソールから書き出した CSV ファイルにユーザー情報を入力します。

例) オーナー情報のデータ

2行目の設定 (A ~ L) が、下記表 (共通 No.1 ~ 12) の「項目名」に該当します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	CSV ファイル Ver.											
2	User name	PC login name	Admin. authority	Printer mode	Copy mode	Scanner mode	Index	IC card	Temporary Password	Group1	Group2	Group3
3	理想太郎	riso tarou	admin	on	on	on	6	1001 9638…	abcde123	営業		
4	理想花子	riso hanako	user	on	on	off	6	1001 9638…	xwz9876	営業	企画	

[共通]

No.	項目名	設定値	使用できない文字
1	User name (ユーザー名)	半角／全角 1-10 文字 ※空欄はエラー	" / [] : + ! < > = ; , * ? ¥ '
2	PC login name (パソコンログイン ID)	半角／全角 0-63 文字	" / [] : + ! < > = ; , * ? ¥ '
3	Authorization (管理者権限)	"user" : 一般利用者 "admin" : 管理者	なし
4	Printer mode (プリンターモード)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
5	Copy mode (コピーモード)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
6	Scanner mode (スキャナーモード)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
7	Index (見出し属性)	半角 1 文字 (1-6) 1: 英数文字 2: あ / か 3: さ / た 4: な / は 5: ま / や 6: ら / わ	なし
8	IC card (IC カードの固有 ID 番号)	半角英数字 0-22 文字 IC カードの規格に準拠	半角英数字以外の文字
9	Temporary Password (仮パスワード)	半角英数字 (小文字のみ) 1-16 文字	半角英数字以外の文字
10	Group1 (所属グループ 1)	半角／全角 1-10 文字	" / [] : + ! < > = ; , * ? ¥ '
11	Group2 (所属グループ 2)	半角／全角 1-10 文字	" / [] : + ! < > = ; , * ? ¥ '
12	Group3 (所属グループ 3)	半角／全角 1-10 文字	" / [] : + ! < > = ; , * ? ¥ '

本機に登録するユーザーに機能制限を設定する場合は、以下の項目についても設定が必要です。

例) 機能制限のデータ

2行目の設定 (M～V) が、下記表（プリント／コピー機能制限設定 No.13～22）の「項目名」に該当します。

	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1										
2	Full color print	Full color print limitation	Full color print limit	Mono-color print limitation	Mono-color print limit	Full color copy	Full color copy limitation	Full color copy limit	Mono-color copy limitation	Mono-color copy limit
3	on	on	99999	off	99999	on	off	99999	off	99999
4	on	on	100	on	100	on	on	100	off	99999

[プリント／コピー機能制限設定] : [モードごとに制限する] 選択時の例

No.	項目名	設定値	使用できない文字
13	Full color print (カラープリント可否)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
14	Full color print limitation (カラープリント使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
15	Full color print limit (カラープリント使用制限枚数)	半角数字 1-5 文字 1 ~ 99999	半角数字 (0-9) 以外は不可
16	Mono-color print limitation 単色プリント使用枚数制限	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
17	Mono-color print limit 単色プリント使用制限枚数	半角数字 1-5 文字 1 ~ 99999	半角数字 (0-9) 以外は不可
18	Full color copy (カラーコピー可否)	"on" : 許可 "off" : 禁止	なし
19	Full color copy limitation (カラーコピー使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
20	Full color copy limit (カラーコピー使用制限枚数)	半角数字 1-5 文字 1 ~ 99999	半角数字 (0-9) 以外は不可
21	Mono-color copy limitation (単色コピー使用枚数制限)	"on" : 制限する "off" : 制限しない	なし
22	Mono-color copy limit (単色コピー使用制限枚数)	半角数字 1-5 文字 1 ~ 99999	半角数字 (0-9) 以外は不可



「設定値」以外の値を入力した場合、ユーザー情報が正しく登録されない場合があります。半角英数字を制限文字数内で入力してください。

052-36106-200



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎ 0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日：当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバーアプリケーションの操作に関しては

サポートセンター ☎ 0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)



理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6112

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>